

◎ 学力向上に向けて

(1) 学びのスタンダード



吉中 学びのスタンダード

	時間	生徒の学習活動	教師の働きかけ
導 入	開始 1分前	0 授業の準備をして、着席	0 1分前には入室完了
	開始 時刻 5分 以内	1 さわやかな声で「始めの挨拶」 「あのうさぎ」の あ：相手を見て の：伸ばした背筋 2 課題の確認	1 開始時刻と同時に「始めましょう」 ※ 前時の振り返りや帯学習的な活動を行う 2 学習課題 を貼り、課題を板書
展 開	25分 ～ 35分	3 一人で課題を追究 ※ 既習事項を振り返り、見通しを立てる ※ 考えとその根拠をノート等を書く 4 学び合いながら課題追究 小集団・全体での高め合い学習 ○ 伝える ・考えとその根拠を明確にして相手に伝える ○ 聴く 「あのうさぎ」の さ：最後まで ・相手の考えとその根拠をしっかりと聴く ○ 話し合う 「あのうさぎ」の ぎ：疑問を感じて ・考えやその根拠の相違点に着目し、疑問等が解決するよう互いに納得いくまで話し合う ・全体が納得する考えとその根拠をまとめる	3 一人学び を貼り、個々に課題追究 ※ 学習課題や学習方法を選択できるようにする ※ 考える時間を確保する 4 学び合い を貼り、高め合い学習で 課題追究（小集団学習・全体学習） ○ 教師は「生徒指導の機能」を生かしながら、「伝える・聴く・話し合う」活動を通して高め合う学習が充実するように働きかける。 <教師の働きかけの視点> 「生徒指導の機能」 ◆ 自己存在感を与える ・やる気につながる称揚や承認、励ましの言葉をかける ・生徒の発言やつぶやきを生かす ・ネームプレートを活用する など ◆ 共感的な人間関係を育成する ・人権尊重の精神を大切に、互いのよさを認め合う ・よい姿を認め、好ましくない姿を正す（学習規律） ・微笑みや温かい眼差しで生徒を見守る など ◆ 自己決定の場を与える ・一人学び、考える時間を確保する ・場に応じた学習形態を工夫する ・学習課題や学習方法を選択できるようにする など
		5 本時の振り返り（解決までの思考過程 や学習成果の確認） 6 次の課題と家庭学習内容の確認 7 さわやかな声で「終わりの挨拶」 「あのうさぎ」の あ：相手を見て の：伸ばした背筋	5 学びの整理 を貼り、学習成果を確認 ○ 本時の思考過程や学習成果を、自分の言葉で書く、発表する、評価問題等によって確認する。 6 次の課題 を貼り、次の課題と家庭学習 の確認 7 終了時刻 30秒前に「終わりました」
ま と め	残り 10分 あと 30秒	8 家庭学習に真剣に取り組む ※ 学年 最低学習時間（部のない日） 1年生 70分 (90分) 2年生 80分 (120分) 3年生 90分 (180分) 9 終了後、明日の準備を確認 10 家庭学習課題（宿題）提出	8 家庭学習への意欲向上・動機付け ・生徒の疑問や関心を生かした家庭学習課題の設定 ・次の課題との関連性の明確化 ・家庭学習の重要性の周知 9 授業や帰りの会での準備物の周知 10 家庭学習課題（宿題）の取組状況を 授業の中で確認
家 庭 学 習	学年別の 最低学習 時間		